



**痛々しい傷跡も大切な遺構。**  
建物の北側外壁をよく見てみるとたくさんの穴があります。これは、太平洋戦争の終わりの空襲を受けた、機銃掃射の弾痕です。痛ましい姿ではありますが、これも悲惨な戦争を語り継ぐ大切な遺構です。



ビール工場として内部の温度を一定に保つための中空構造を持つ5重の複壁。

**紺屋海道**

江戸時代染物屋がたくさん並んでいたと伝えられる通り。今でもどこか懐かしい風情が残っています。黄土色のライン舗装をたどると、半田運河から半田赤レンガ建物へ迷わず行くことができます。



**旧中笠家住宅**

中笠半六家の第10代半六が明治44年に別荘として建築。欧州留学中に見た住宅の美しさに魅了されて建築したといわれています。  
●半田市天王町1-30-2  
●外観見学は年中無休で可。年に数回公開日あり。



国の重要文化財

まちなか散策は、まるでタイムトラベル！

江戸から明治にかけての繁栄ぶりをそこかしこに見ることが出来る半田のまち。豪商の暮らしや醸造の歴史を感じながら、昔の人びとが行き交った街道をぶらりと歩いていると、まるでタイムスリップしたみたい。当時の姿が残る建物や景観を活かして、新しいスポットも増えイベントも開催されています。この地ならではのカルチャーに触れながら、楽しくまちなかを巡ってみましょう。

**東雲の道**

半田運河の北、阿久比川と十ヶ川に挟まれた穏やかな散歩道。桜の名所でもあります。1月から3月ごろまでは水仙も見頃です。



- P 公共駐車場
- ① 公共トイレ
- ② 観光案内所
- ③ 知多四国 88ヶ所札所
- ④ 丸番号は14~16頁掲載の店舗

市の天然記念物  
モッコウバラ

国の登録有形文化財  
小栗家住宅

**リトリートキッチン**

ミツカンミュージアム前の小公園にちよんと建つ小さな店。スムージーとミツカンの「ZENBヌードル」を使ったパスタを販売。  
●8:00~15:00  
●毎週月曜休

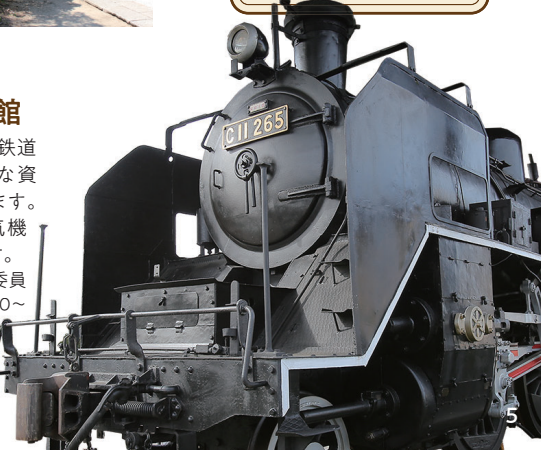
**市指定天然記念物 萬三の白モッコウバラ (小栗家住宅)**

国登録有形文化財の小栗家住宅の庭にある、樹齢150年ほどの大きな白モッコウバラ。毎年4月中旬から5月初旬に可憐な白い花が咲き、期間限定で特別公開しています。



**知多半島に鉄道遺産が多いワケ。**

知多半島を走るJR武豊線は、東海道線の建設用資材を運ぶために作られた路線です。工期わずか7ヶ月で明治19年に開通。日本最古の現役駅舎といわれる亀崎駅舎のほかにも、煉瓦造の橋脚や転車台など貴重な鉄道遺産が今も残っています。



**半田市鉄道資料館**

昭和52年に開設された鉄道資料館。武豊線の貴重な資料を数多く収集しています。屋外には、C11265蒸気機関車も展示されています。  
●0569-23-7341(教育委員会生涯学習課) ●10:00~15:00 ●開館日/毎月第1・第3日曜(1月のみ第2・第3日曜) ●無料

**半田運河のイベント**



**半田運河の鯉のぼり**

毎年4月中旬から5月初旬までの期間、半田運河に50匹以上の鯉のぼりが優雅に泳ぎます。半田運河の春を彩る風物詩です。



**半田運河Canal Night**

夏の夜に2日間開催されるアートイベント。半田運河の水面に数千個のヒカリノ玉を浮かべ、ゆらゆらと幻想的な空間を演出します。

**半田赤レンガ建物**

- 0569-24-7031
- 半田市榎下町8
- 9:00~22:00
- 年末年始休

**歴史の生き証人、半田赤レンガ建物。**  
日本のビール黎明期に、地方都市・半田から大手メーカーへの一流ブランドを発信しようと果敢に挑んだ起業家たちがいました。丸三ビール(後のカブトビール)を創り出した、中笠酢店の四代目中笠又左衛門と後の敷島製パン創業者、盛田善平らです。明治31年に、本格的なドイツビールの醸造のために建設したビール工場が、現在の半田赤レンガ建物。当時のレンガ建造物としては日本で五本の指に入る規模です。



**常設展示室**

半田赤レンガ建物やカブトビールづくりに挑んだ先人の情熱とその歴史を模型・映像・当時の写真などでご紹介。  
●9:00~17:00  
●大人200円(中学生以下無料)



**ショップ**

複製されたカブトビールをはじめ、オリジナルグッズや半田・知多地域の名産品を数多く取り揃えています。  
●10:00~17:00

**半田赤レンガ建物のイベント**



- 半田赤レンガ建物内や芝生広場で、年間さまざまなイベントが開催されています。最新情報はホームページでチェック!
- ・7月中旬/カブトビールフェスタ
- ・10月中旬/ドイツフェスティバル
- ・毎月第4日曜日/半田赤レンガマルシェ
- ・奇数月第1日曜日/ひとはこ市

**復刻された幻のカブトビール。**  
明治22年5月、「丸三ビール」と名づけられた瓶詰めビールが半田から初出荷されました。これが後のカブトビールです。その後バリ万博で金賞を受賞。戦時中に製造を中止しましたが、半田赤レンガ建物の保存活動を行う赤煉瓦倶楽部半田の取り組みにより、平成17年に復刻されました。蘇ったのは明治と大正の2種類。当時の分析表や文献を基に、できる限り忠実に再現されています。



右が「明治カブトビール」、中央が「大正カブトビール」。左のオリジナルグラスはショップでも販売しています。